

東北地方太平洋沖地震に関する状況と支援について(4/1 現在)

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
株式会社コーセー(代表取締役社長:小林一俊)では、被害状況の把握と復旧、商品供給体制の確保、および被災地への支援を進めてまいりました。4月1日現在の状況をお知らせいたします。

<全体状況>

1. 東北流通センター(福島県須賀川市)の被災で納品への影響が発生していましたが、3月28日より復旧し、商品の供給は一部地域を除き、概ね正常化しています。
2. 国内工場(埼玉県、群馬県)では、計画停電等による生産活動への支障が生じておりますが、柔軟な勤務シフト等で、可能な限り影響を抑えています。
3. 3月25日に発売を予定していた新製品「エスプリーク」(アイカラー、チーク、口紅のメイクアップ商品3品目19品種)は震災の影響により、一部地域(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)で発売を延期しましたが、これらの地域では4月16日に発売を予定しています。

<被災地への支援状況>

1. 義援金について
(1) 3月25日に日本赤十字社に対し義援金1億円を寄託しました。
2. 支援物資について
(1) 3月18日に被災地での要望が高い生活関連衛生エチケット商品(ボディシート、フェイシャルシートなど)30万個を提供する準備を整えました。順次、各県の災害対策本部に納入を行なっています。
(2) 3月30日に被災地での要望が高い保湿スキンケア商品(ミニサイズの美容液、化粧水、乳液などの試供品1万3千個、コットンとティッシュ2万5千個)計3万8千個を提供する準備を整えました。4月4日より被災地の化粧品販売店を通じて生活者へ直接お届けします。
(3) 3月30日に被災地のニーズ変化に応え、政府一括調達による支援活動への協力の一環として、生活関連商品(シャンプー、ボディソープ)計1万個を提供する準備を整えました。

この他、社員からの自主的な寄付に関する取りまとめや、当社グループの海外現地法人からの寄付も寄せられています。今後も引き続き、被災地の状況に合わせた支援策を検討してまいります。